

ぐんまで頑張る職業人の熱意をレポート!

柴崎龍吾の課外授業

part2

vol.14

大人気企画が復活!うすい学園の柴崎先生が街に飛び出して、働く人にインタビュー。子どもたちのために、職業の多様性や働くことの意味を毎号レポートしていきます!



エフエム群馬にてインタビュー内容を放送中! 毎週月曜 ワイド番組「POTLUCK」内 16:38頃~



うすい学園グループ代表 柴崎龍吾

群馬県安中市出身。1975年に横川学習塾開業。うすい学園小・中・高部・アイムイングリッシュスクール・WILL個別指導学院・PISA塾・東進衛星予備校・Cocoro幼児教室・うすい国際学園のブランド名で、群馬・埼玉・東京の計24校舎を運営。幼児から成人までの私教育グループを統括する。

今月の職業人

有限会社下仁田 代表取締役 南都隆道さん



▲1963年に祖父、伊藤幸夫さんが伊藤納豆店を創業し、1993年に南都さんが入店すると同時に下仁田納豆を設立。現在は県内に4社しかない地場の納豆製造会社のひとつとして、全国の納豆好きから支持される高品質な納豆作りを進んでいる。下仁田納豆南田本店(甘楽郡下仁田町馬山南田5910 下仁田IC近く)は工場内にある直営店で、同社の多彩な商品を購入することが可能。

基本に忠実な納豆作りで細くても息の長い企業でありたい

柴崎 今回は下仁田町で昔ながらの製法を守りながら納豆を作り続けている、下仁田納豆の南都隆道さんにお話を伺います。下仁田納豆といえば高い品質が自慢で、都内の有名百貨店などでも販売されている人気商品ですが、コロナ禍の3年間は怎么样了か?

南都 とても好調でした。これは私どもだけでなく、業界全体が同じ傾向です。実は、「納豆は有事の際に好調になる」と言われているんです。手軽に食べられて、栄養が豊富だということが背景にあるからだと思います。ただ、新型コロナがひと段落し、外食や旅行が増えている現在は、少し落ち着いている状況です。

柴崎 新型コロナによる悪影響が無かった

のは幸いでしたね。今は物価高や人材不足に直面している企業も多いですが、こちらはいかがですか?

南都 こちらは正直、苦しんでいます。社会情勢不安から、大豆価格が高騰しているんですね。当社は北海道や県内など生産者の方々と直接契約して作っていたので、大豆の価格変動はありませんでした。けれど、やはり燃料や資材の高騰は経営を直撃しました。

柴崎 値上げはしないんですか?

南都 実はすでに値上げしました。悩み抜いて1割ほど値上げさせていただきました。ありがとうございます。お客様の支持を失うのではないかと、とても非常に怖かったです。結果、ありがたいことに販売数はほとんど下がりませ

んでした。

柴崎 下仁田納豆は他と差別化されているから、ちゃんと固定のファンがいるという点ですね。

南都 当社は、プラスチックではない昔ながらの天然素材である経木による包装、国産大豆の使用、備長炭を使った炭火による発酵、食品工業的なオートメーション製造ではなく手作りにこだわるなど、とにかく品質第一で納豆づくりをしてきました。それが他社との差別化となっていて、お客様に支持されているのであれば、本当に嬉しいです。

柴崎 今後の下仁田納豆はどのようにお考えでしょうか。

南都 直近では、今まで25種類ほどあった商品ラインナップを半分程度まで絞ろうと考えています。足し算ではなく、引き算のマーケティングで、本当にお客様に愛されている商品を全国に向けて、確実に販売していくと考えています。当社は今年創業60年を迎えましたが、今後も基本に忠実に納豆作りを続け、細くても息の長い企業でありたいと考えています。また、昨年から新卒社員の採用を始めました。皆とても明るくて、工場内が桜色になるような自慢の社員です。今まで支えてくれた社員はもちろん、若い社員もしっかりと育てて、皆が長く働いてもらえるように頑張りたいですね。

柴崎 今や北海道から沖縄まで、全国各地で販売しているという下仁田納豆。それでも創業の地である下仁田町に根を張り、「離れるつもりはない」と断言する南都社長の言葉が印象的でした。今後も昔ながらの製法を守り続け、おいしくて高品質な納豆を造り続けてほしいですね。それではまた次回!



中高一貫教育や幼児~大学受験生までの一貫教育に強い地域密着型学習塾「うすい学園」

☎027-310-1919 月~土(10:00~19:00)

<http://www.usuigakuen.co.jp/>